

## 背景

・2030年までに農産物需要は**1.5倍**に増加の予想 ・地球温暖化をはじめとする、地球環境問題の深刻化

## 現状の課題

### 生産力向上と持続性の両立

・農業分野のデジタル人材不足 ・農業を意識したプログラミング教育がない

## 事業の目的

### 農業分野におけるデジタル人材の育成

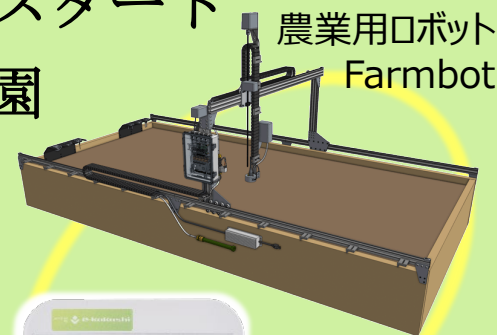
## これまでの取組

## 事業内容

農業用ロボット『Farmbot』を活用した「スマート市民農園事業」をスタート

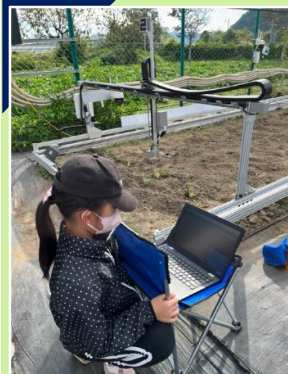
①農業版STEAM教育 ②アグリテック甲子園 ③スマート市民農園

〈事業期間 令和2年度～令和6年度 事業費 1億3千万円（5年間）〉

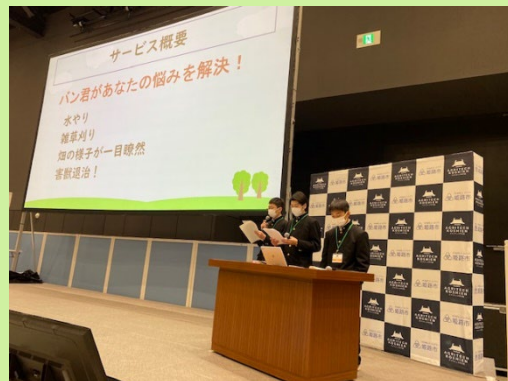


R4導入  
農業AIブレン  
e-kakashi  
(イーカカシ)

Farmbotとe-kakashiを  
連携させ、機能を強化



アグリテック  
体験プログラム  
第1回  
レクチャー会  
(2022.10.16開催)



↑アグリテック甲子園2021  
アイデア発表プレゼン(2022.1.30開催)



↑書写養護学校に  
設置のファームボット  
遠隔操作による水やりの様子





得られる  
成果等

○成果・目標

## 農業分野のデジタル人材育成



- ・農業分野のイノベーション創出
- ・重度身体障がい者の**農福連携**

地方創生推進交付金事業  
「ハーブの里山プロジェクト」と連携し、  
カモミールの自動収穫ロボットを開発中



【連絡先】 姫路市産業局  
農政総務課

柿本・井上・藤井

TEL079-221-2496

noseisomu@city.himeji.lg.jp



スマート市民農園事業  
紹介動画



アグリテック甲子園  
公式HP

## ○企業の皆様をお願いしたいこと

- ・企業版ふるさと納税
- ・オープンイノベーションへの参画
- ・アグリテック甲子園2023への協賛  
-R6.1開催予定-(企業賞の提供など。)

## ○企業のメリット

- ・農業DXの推進による社会貢献
- ・イノベーション人材とのマッチング
- ・SDGs達成への貢献のPR
- ・アグリテック甲子園での企業アピール



アグリテック甲子園2021  
の様子

企業版ふるさと納税を  
いただいた企業様のロゴ  
をスクリーンに表示→

